

大規模災害発生後の災害廃棄物広域処理における鉄道貨物輸送の役割

The Role of Rail Freight Transportation in the Wide-Area Treatment of Disaster Waste After Large-Scale Disasters

藤井 大輔
Daisuke Fujii

要旨

阪神・淡路大震災、東日本大震災、平成30年7月豪雨（西日本豪雨）、令和元年東日本台風など、激甚な自然災害に幾度も襲われ、その度に膨大な量の「災害廃棄物」が瞬時に発生し、迅速な処理が求められる。また、将来発生が予測されている南海トラフ巨大地震や首都直下地震などでも膨大な災害廃棄物が発生する。そこで、災害廃棄物を広域で処理することが求められる。この災害廃棄物広域処理には鉄道貨物輸送が有効である。また、自動車貨物輸送業就業者の高齢化などから鉄道貨物輸送の拡大が重要であり、その拡大のための課題を探る。

キーワード： 災害廃棄物 広域処理 鉄道貨物輸送 国土強靱化